

須崎市

議会 だより

明日の須崎を考えよう

第203号

高知県須崎市議会

9月定例会

令和4年11月1日発行



多ノ郷ライナースの皆さん

目次

審議結果一覧表陳情・請願・人事案件	2～3 P
一般質問(6人)	4～9 P
特別委員会中間報告	10 P
常任委員会審査結果(抜粋)等	11 P
17期議長挨拶・編集後記	12 P

議会を傍聴しませんか

議会日程など詳しい事は、
議会事務局までお問い合わせください。

TEL 42-8791

次回定例会は、12月開会です。

須崎市ホームページにも掲載 <https://www.city.susaki.lg.jp/>



審議結果一覧表

第474回 須崎市議会9月定例会(7日~27日)

市長提出議案 26議案、条例(3件)、決算(11件)、予算(5件)、専決(2件)、その他(5件)、議員提出議案(意見書など)1議案、陳情3件、慎重審議の結果、原案可決12、否決1、承認2、認定11、同意1、不採択1、継続審査2となりました。

●9月定例会 ●全会一致のもの

市長提出議案

第61号	令和3年度須崎市巡航船事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第62号	令和3年度須崎市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第63号	令和3年度須崎市スクールバス特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第64号	令和3年度須崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第65号	令和3年度須崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第66号	令和3年度須崎市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第67号	令和3年度須崎市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第68号	令和3年度須崎市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第69号	令和3年度須崎市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第70号	令和3年度須崎市水道事業会計決算の認定について	認定
第71号	須崎市立公民館及び学校使用条例及び多ノ郷アッセンブリーハウス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
第72号	須崎市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決
第73号	須崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
第74号	専決処分の承認について(令和4年度須崎市一般会計補正予算(第4号))	承認
第75号	専決処分の承認について(令和4年度須崎市下水道事業特別会計補正予算(第1号))	承認
第77号	令和4年度須崎市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
第78号	令和4年度須崎市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
第79号	令和4年度須崎市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
第80号	令和4年度須崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
第81号	高知県広域食肉センター事務組合理約の変更について	可決
第82号	財産の取得について(須崎消防団消防ポンプ自動車)	可決
第83号	指定管理者の指定について(障害者地域活動支援センター)	可決
第84号	教育委員会委員の任命について	同意
第85号	工事請負契約の締結について	可決

承認 ☐ 可決 ☒ 認定 ☒ 同意 ☐ 否決 ☐ 採択 ☐

人事案件

●教育委員会委員 岡田 和美(多ノ郷甲)

番号	件 名	議決結果	豊島美代子	宮田 志野	西村 泰一	大崎 稔	海地 雅弘	森田 收三	柿谷 悟	高橋 祐平	大崎 宏明	土居 信一	吉野 寛招	佐々木 學	西山 慶	松田 健	高橋 立一
----	-----	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------

市長提出議案

第60号	令和3年度須崎市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
第76号	令和4年度須崎市一般会計補正予算(第5号)について	可決	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	

陳情

第33号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書採択のお願い	不採択	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
第35号	「安倍元首相の国葬に反対する意見書」提出を求める陳情書	継続審査	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	

議員提出議案

第9号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出について	否決	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
-----	-------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

※ □:議長、○:賛成、×:反対、欠:欠席、退:退席

●常任委員会審査結果

請 願 と 陳 情	市民の皆さんから出された請願・陳情は、それぞれ本会議で所管の委員会に付託し、慎重に審査のうえ、最終日に委員会より結果の報告がなされ、本会議で決定します。
-----------	--

陳 情	採 択	●消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書採択のお願い
	継続審査	●「須崎市小中学校統合計画」の見直しを求める陳情書
	不採択	●「安倍元首相の国葬に反対する意見書」提出を求める陳情書

須崎市議会基本条例違反議員に対する処分について(報告)

平成29年当時任意団体であった須崎市放課後児童クラブの会計処理に対しての豊島美代子議員の言動について、須崎市議会基本条例に違反の疑いがあるとのことで、市議会に対し審議、採決の上、適切な対処を求める旨の陳情がありました。

本陳情の重大性を鑑み、本陳情については、委員会付託とはせず、全議員で慎重に審議を進め、同議員の言動は、議員として市民の信頼を大きく損ねるものであり、市民の信任による、その立場の重みからも、非常に問題のある発言であったと言わざるを得ないものとの結論に至り、議会として、須崎市議会基本条例第6条第3項及び第4項の違反であると判断し、議長からの口頭による嚴重注意処分いたしました。

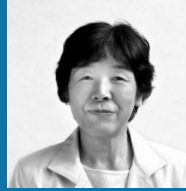
令和4年10月3日

須崎市議会
議長 高橋 立一

本陳情書及び陳情に至る経緯については、須崎市ホームページに掲載しております。

豊島 美代子 議員

13日 ㊦



所属委員会等
会派：日本共産党
総務委員会委員・議会運営委員会委員・
南海地震対策調査特別委員会委員

平和行政

ロシアによるウクライナ侵略が止まらない。戦争や平和について、市民の関心が高まっている。憲法には、平和維持に対して、国民の不断の努力が要るとあり平和行政の重要性を痛感する。

平和行政に対する認識と、市の自己評価をどう捉えているのか聞く。

■答・楠瀬市長

戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、戦争や核兵器のない世界の実現に向けて、平和行政による継続的な事業展開や啓発活動は不可欠と考える。

自己評価は先進的な自治体からまだまだ学ぶべきであると捉えている。

私も含め戦争を体験したことのない世代が大部分になってきているので、啓発活動等を検討出来ればと思っている。

災害見舞金の拡充を

異常気象が頻発し、7月市内各地で被害があった。住家を失った方、床上・床下浸水被害を受けた方も多数いた。経済的、精神的にも大打撃である。

現在、市の災害見舞金は被災原因を火災に限定しているが、被災原因を自然災害にまで拡充するつもりはないか。

■答・楠瀬市長

見舞金支給対象の拡充の必要性は認識しているが、支給対象となる被災の基準をどのように設定するのか、また、財源等の問題もあるので、今後の検討課題であると考えている。

図書館等複合施設

すでに基本設計が出来ているのに、PFI手法導入で新たな業者に基本設計からの作成を求めるのか。これまでの基本設計に至るまでの費用が無駄になるのではないか。

■答・岡本生涯学習課長

PFI手法により、新たな業者に設計から依頼する事で、民間事業者のノウハウなどを生かし、より良い施設機能とコスト削減が期待できる。民間事業者の発想を妨げないよう、細かな仕様の特定については、必要範囲にとどめた性能発注をしたいと考えている。

財政負担の軽減が期待できるPFI手法に移行しようとするものであることから、決して無駄とは考えていない。

これまでのやり方とPFI手法で事業費がどの程度削減されるのか。

■答・岡本生涯学習課長

民間事業者から事業費も含めて提案を受けるものであり、削減については、現段階ではお答えしかねる。

結果的に基本設計が変わるので、比較は難しいのではないかと。議会や市民には平面図も示されていない。今仕上がっている基本設計の公開は必要ではないか。

■答・岡本生涯学習課長

納品されている基本設計は、まだ確定ではない。PFIが進行中なので、公開は差し控える。PFIが一定決定した段階で、比較検討は可能であると考えている。

ワークショップや市民説明会で出されたこれまでの意見等は、どのように活かされるのか。

■答・岡本生涯学習課長

ご要望やご意見等は、昨年12月に策定した基本計画に盛り込まれている。

PFIでの実施が確定した場合は、この基本計画は性能発注の重要な要件として活用したい。市のホームページにも掲載中であり、過日のPFI説明会に参加の民間事業者にもお示しした。

市民参加のワークショップでも直営でということだった。管理運営についての考えを聞く。

■答・岡本生涯学習課長

PFIで提案される施設内容、職員数や開館時間等も含め、現段階では判断材料も整っていない。効率的で、より質の高いサービスを提供できる運営方法を検討したい。当然、直営も含め考えたい。

高齢者・障がい者住宅

バリアフリーの高齢者・障がい者向け住宅の整備は、避けて通れないと思うが、その認識を問う。

■答・楠瀬市長

高齢者や障がい者の皆さんを対象としたバリアフリー対応住宅の必要性は認識している。市営住宅、改良住宅の入居状況も見ながら、経費的な面も総合的に勘案しながら進めていきたい。

その他

コロナ対策（事業所・介護事業所への支援）・消費税インボイス制度など質問。

高橋 祐平 議員

13日 ㊦



所属委員会等

会派：新緑会

須崎市監査委員・総務委員会副委員長・産業建設委員会委員・

議会改革調査特別委員会委員

災害時における 行政の対応について

7月5日に線状降水帯が発生し、本市で甚大な被害が発生した。

近年こういった異常気象による災害は何十年に一度という状況では無く、数年に一度と言った状況であり、頻繁に災害が発生しかねない状況にある今、本市の災害における体制を見直しなくてはいけないのではないかと考える。

現在、本市の災害復旧に係る制度は宅地については全額個人負担、農地についても国の災害認定を受けられない場合は個人の負担がかなり大きくなる場合がある。

災害の頻度が高まりつつある今、本当に困っている方にも少し手厚い助成金制度が必要であり、つくるべきだと考えるが市長に聞く。



■答・楠瀬市長

全国的に災害が多発しているという状況の中で、今後、農業施設に関して言えば、今回のような大規模災害対応については県やJA等関係機関と調査、分析の協議を行い、あわせて、個人での保険制度の加入促進も含め検討を進めていきたいと考えている。

そのほか補助制度については、支給対象となる被災の基準等をどのように設定するか、また、財源等の問題もあり今後の検討課題であると考えている。

災害時における 重機オペレーター 登録制度について

以前にも議会での質問をしたが当時の建設課長の答弁では、重機とオペレーターはセットで手配するとの事だったが、今回の災害でも、やはり重機はあるが乗り手がいないと言う問題がおこった。

本市においては建設業者の数も少なくなり、早急に対応が必要な場合には自分達でなんとかしなくてはならない場合もある。

災害時には、早急に対応しないと二次災害がおこりかねない場合もあり、いざと言う時に初期的な取り組みが出来れば、市民の方々も安心すると考える。

災害の起こる頻度が高まっている今、新しい制度の取り組みが必要不可欠だと考えるが、この制度を作っていただけなのか、再度、建設課長に聞く。



■答・楠瀬建設課長

以前にもお答えしたが、現状では、市から建設業者に依頼して、重機とオペレーターとセットでの緊急対応をしている。個人のオペレーターになると活動中の二次災害や労働災害等も危惧されることから、制度としてはできていない。

7月の豪雨災害時の応急対応についても、市道、普通河川など公共施設に限って、重機レンタルの費用は市が負担させていたのだが、マンパワー不足により全域をカバーできていないのが現状である。

今後、そういったことを踏まえて、豪雨災害による応急対応について何らかのルールづくりを検討してまいりたい。

学校給食について

本市では学校給食に関するガス料金は、保護者負担の給食費に含まれている。

ガス料金が保護者負担となっている高知県下の市町村は、須崎市を含む5市町村となっており、その他29市町村は設置者負担となっている。

こういった学校給食の運営に関する経費と思われる経費について、再度見直しを検討していただきたい。
学校教育課長に聞く。

■答・中西学校教育課長

光熱費については、学校の設置者が負担する事が望ましいと言っている文部省の見解もあり、他の自治体ではガス料金を設置者負担にされているのではないかと推察している。

物価高騰と言った社会情勢もあり、できるだけ保護者の負担にならないように精査しなければならないと考えているが、給食センターの建設を控えている事や、学校給食の公会計化なども含め、総合的に勘案しながら、給食の質の低下につながらないように、引き続きおいしい給食が提供出来る体制の維持に努めてまいりたい。

その他

給食センター、多ノ郷小学校の横断歩道について質問。



所属委員会等
会派：公明党
南海地震対策調査特別委員会副委員長・総務委員会委員・
教育民生委員会委員・議会運営委員会委員

地方創生臨時交付金に よる本市の物価高対策

私は6月定例会で、地方創生臨時交付金を財源とする、生活支援に関する5項目、産業支援に関する6項目、並びに須崎市商工会議所が会員事業者に経営に関する調査を実施しており、その結果に基づく対策、以上の3点について、提案し要望を行った。

この間の行政の対応は、迅速かつ適切とは言えないと思う。市民の厳しい声もお聴きしていることから、市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

本年度本市に交付決定された地方創生臨時交付金約1億1,800万円は、生活支援及び産業支援も念頭に、市民全体に広く波及する取り組みを中心に検討した結果、すさがすきさ地域振興券事業及び学校給食支援事業の実施に補正予算案を上程している。

今は新型コロナウイルスが最初に出た段階とは変わってきているとの認識もあり、タイムリーな施策として、国の優位な財源を使い、市民の支えとなる施策として考え、この度上程した。

それ以上の踏み込みは、今後、市政懇談会等でご意見を伺い、次の施策に

活かしてまいりたい。

新型コロナウイルス感染 拡大防止への取り組み

現在、新型コロナウイルス感染症第7波の新規感染が、県内においても本市も高止まりの傾向だ。本市の感染状況や、新型コロナウイルス対策、並びに、今後の感染防止への取り組みについて、健康推進課長の所見を聞く。

■答・中山健康推進課長

感染状況は、減少傾向だが、子供を中心に若い世代の感染が多く、クラスターの発生もある。市内の医療機関では通常診療とあわせ、多くの発熱外来対応で大変苦労をかけている。

高齢者など重症化リスクの高い方を守る観点からも、基本的な感染対策、マスクの着用、手洗い、三密の回避、換気の徹底に加え、可能な方は早めのワクチン接種をお願いしたい。

日頃から感染しない、させない、広げないことを常に意識しながら行動していくことが重要と考える。

感染対策の協力をお願いしたい。

公共交通の利便性向上へ 具体的な取り組みを

市民の移動手段確保へ公共交通の柱である、JRや高知高陵交通㈱、本市の公営バスについて、市民に広く利用してもらうための抜本的な改革を市長が先頭に立って今こそ行う必要があると思う。

特に市営バスやスクールバスは慢性的な赤字を出しながら抜本的な改善が図られないままの運行が継続されている。具体的な利便性の向上の取り組みについて、市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

市民の移動手段を確保し、利便性の高い公共交通とするため、本年3月末に策定した地域公共交通計画に基づき、必要に応じて運行時刻や路線の見直しなどを行うことにしており、高知高陵交通㈱をはじめ市内事業者と連携、協力し取り組みを進めてきた。

市営バスは、これまでも継続して利便性向上を検討し昨年8月からフリー乗降区間を拡大する等見直してきた。

今年度も高知県地域交通協議会高陵ブロック会において、運行時刻の変更など具体的な協議を実施し、より利便性の高い運用に努めていく。

線状降水帯の大雨による 園芸ハウス被害に支援を

私は7月15日、関係者と被災現場を視察後、JA土佐くろしお組合長等から要望を聞いた。

まずは、被害状況の把握に努めており、次に生活支援や事業再開への準備、事業再開への資金の確保に傾注。今後、浸水被害の再発防止が主要な要望だ。

本市の対応について市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

今回の被害は特に浦ノ内中ノ浦・福良地区で園芸用ハウス27棟、4万3,658㎡が被害を受けた。

被害状況踏まえ、今後の対応をJA土佐くろしおと協議し、園芸用ハウスの復旧に関する補助を確認して、今議会に提案し、早期復旧に向けて支援していく。

浸水被害の再発防止への取り組みは、現場の被害状況を詳細に把握し、その原因と災害が発生したメカニズムなどをしっかりと調査、検証し、それをもとに関係機関と協議を重ね計画的に対応していきたい。

その他 川端シンボルロードの川の流れを復旧、ヤングケアラー支援など質問。

森田 收三 議員

13日 ㊦

所属委員会等

会派：南風の会

産業建設委員会副委員長・教育民生委員会委員・

議会改革調査特別委員会委員

浦ノ内マリンパークを 中心とする発展について

ロコスキャンプ場、浦ノ内遊具公園、バーベキュー施設、海上アスレチックの現在の利用状況をどのように捉えているか。

■答・楠瀬市長

海洋スポーツパーク構想の取り組みや野外体験施設、浦ノ内遊具公園の整備により、非常に多くの皆様に本市へお越しいただけるようになっている。

今後は、お越しいただいた皆様を、様々な地域連携や情報共有により、市内各所に誘導し、本市の様々な魅力を体験していただき、今回の取り組みとの相乗効果を図ることによって、須崎市全体の活性化につなげていきたい。

漁業問題について

アサリ養殖について、現在、養殖技術は確立されつつあるが、稚貝の確保について県と連携し、進めていく考えはないか。

■答・岡田農林水産課長

今後の事業について、高知県水産試験場に聞いたところ、稚貝の確保も含

め、継続していく旨の回答があった。ただし、垂下式などの養殖事業の普及には様々な課題もあるので、特別な目的のある事業等について条件が整った場合は、宇佐地区協議会を通じて、個体の提供も検討していきたいと聞いている。

釣り客増加につながるよう、放流魚種の拡大について検討する考えはないか。

■答・岡田農林水産課長

放流事業は、漁業振興においても重要な位置づけであるので、今後も関係機関と協議しつつ、豊かな海を維持できるよう、放流魚種の拡大についても検討を続けてまいりたい。

通園・通学バスの 安全対策について

先日、通園バス車内に園児が置き去りにされ、亡くなる大変痛ましい事故があった。須崎市の通園・通学バスにおいて、下車時の確認マニュアル等はあるのか。

■答・細木教育長

スクールバス、通園バスとも、特に運行上のマニュアルというものはないが、

下車後に車内の消毒作業、園児や児童の確認、忘れ物等、車内の点検を徹底している。

引き続き確認の徹底と注意喚起を行って、事故防止に万全を期してまいりたい。

アメリカなどでは、エンジンを停止するとアラームが鳴り、車内後方にあるボタンを押さなければ止まらないという警報機を設置しているようだが、そのような警報機設置の必要性についてどう考えるか。

■答・細木教育長

そうした機器がどのようなものなのかも含めて、今後検討してみたい。

今後、学校の統合が進むとすれば、通学バスの便数増が見込まれることから、運行管理の更なる徹底をどう考えるか問う。

■答・細木教育長

台数が多くなるからということではなく、現在、運行しているものも含めて、事故がないように、園児や児童生徒の安全確保を第一に運行することが何よりも肝要なことなので、委託業者に引き続き安全運行に努めるよう、指導を徹底してまいりたい。

災害対策について

団員確保にむけて、市としても努力していることと思うが、具体策について問う。

■答・久万防災課長

消防団活動でも、各分団員の協力の下、須崎まつりや保育まつり等、各種イベントでのPR活動やSNSを活用した情報発信、地域の行事活動等を行う中での募集活動に取り組んでおり、近年では、本市在住の外国籍住民の方が複数、新規入団していただいている。

東日本大震災後に団員の出務手当が増額されたと記憶しているが、その後10年が経過した。再度増額する必要があると思うが、どう考えるか。

■答・久万防災課長

平成28年4月に、団長招集による緊急出動手当、1回につき3,700円を5,000円に改めている。

再度の増額は、現在、年額報酬等の改定について関係機関との協議検討を行っているおり、県内消防団組織の動向にも注視し、順次進めてまいりたい。



所属委員会等
会派：海青会
総務委員会委員・議会運営委員会委員・南海地震対策調査
特別委員会委員

スケートパーク構想について

7月に開かれたスケートパークが欲しいと陳情された高校生、スケートボード関係者、日本スケートパーク協会の方々と協議会にオブザーバーとして参加した。

コロナ後を見据えた地域活性化になり得る施設だとの感触を持ったが、現段階での市民に提供できる情報を提示いただきたい。

■答・楠瀬市長

6月にNPO法人日本スケートパーク協会と（仮称）須崎スケートパーク基本構想策定業務の委託契約を締結した。2回の協議会を経て、現在は候補地の選定を中心に検討している。基本構想の策定にあたっては、パーク利用者はもとより、周辺の皆様にも歓迎いただける施設であることを重要視して作業を進めている。

須崎市と高知大学、 （株）日本トリムとの 共同研究事業について

須崎市ではメタボリックシンドロームがきっかけで引き起こされる危険性の高い生活習慣病患者の増加を受け、平成29年度、日本一の健康長寿のまち

を目指して、電解水素水の飲用が市民の健康に与える影響を検証するという共同研究事業をスタートしたが、その検証結果を聞く。

また、検証結果をもとに市民の健康づくりに向けてどのような取り組みがなされているのか。

■答・楠瀬市長

検証結果については、評価項目により、有意な差が認められるものと認められないものがあり、健康状態への影響や効果を分かりやすくお知らせできる内容ではなかったことから、健康施策への反映はまだ出ていないが、調査結果が出たら改めてお知らせしたい。

須崎市において多数の愛好者がいる詩吟は非常に健康に良いといわれている。先の共同研究のように詩吟が市民の健康状態に与える影響を検証する共同研究事業を新たにスタートさせてはどうかと思うが、市長の所見を聞く。

■答・楠瀬市長

詩を吟じることは体に良いものと認識している。大きな声を出すことは健康増進に繋がると思われ、カラオケやコーラス等、趣味を通じてストレス解消や健康づくりを実践していただきたい。

いと考えている。ただ、共同研究となると大学の研究予算等いろいろな条件があり、それらをクリアできるような座組みが必要だ。海地議員を中心に座組みを実現していただければ、共同研究にも近づくのではないかとと思う。

須崎版選挙割について

選挙割とは、投票に行くことで、その地域の飲食店や小売店において様々な特典が受けられる取り組みですが、近年、須崎市における国、県、市の各選挙においては投票率低下が続いており、投票率向上を選挙管理委員会に任せておくだけではなく、プロジェクトを組んで注意喚起することが必要と考える。

そこで商工会議所等と協議し、予算化もして、地域活性化のために須崎版選挙割を導入する考えはないか。

■答・楠瀬市長

ご提案の選挙割は、民間事業者が主体となつて投票への意識づけを行うものであると認識している。

投票は国民の義務でもあり、景品のなものに公費を使ってやる是非については、非常に慎重にならざるを得ないと考えている。

ぜひ民間事業者の方で、社会貢献活動

動として企画いただけるところがあれば、環境整備はやっていきたい。

城山森林浴歩道と 避難路整備について

森林環境譲与税の活用方法の一つとして整備が進んでいる城山森林浴歩道だが、城山の緊急避難場所に接続することが出来れば、ウォーキングなど、城山を訪れる市民が増えると思うし、観光資源にもなる。また、その行為自体が避難訓練にも繋がると考える。

そのためには、城山森林浴歩道完成後も、しっかりと維持管理体制が必要だが、所管課長の所見を聞く。

■答・岡田農林水産課長

各避難場所への接続については、全体整備完了後に検討したい。

完成後の管理体制については、必要な予算を確保し、維持管理体制を検討していかなければならないと考えている。

その他

「しんじょう君」訴訟、

新荘公民館の移転、移住・定住政策、高台整備事業、海のまちプロジェクト、原町の市道整備と避難路整備についてなど質問。

宮田 志野 議員

14日 ㊦

所属委員会等

会派：日本共産党

議会運営委員会委員長・教育民生委員会委員・

議会改革調査特別委員会委員

安倍元首相国葬について

国葬反対の署名が40万筆を超え、国に提出されている。主要10社の世論調査でも、国葬の実施をしない、反対が過半数を超えている。

国葬は、憲法第14条、法の下の平等に反し、第19条、思想及び良心の自由に反し、弔意の強要につながるのではないかと。市長の所見を問う。

■答・楠瀬市長

国葬に関する閉会中審査においても、実施の決定や概算費用、弔意の強要批判など、岸田首相と野党の主張は平行線のままで、見解の相違による「言うはかないが、実施される場合には、多くの国民の理解の下、執り行われることが望ましいと考えている。

銃弾に倒れた安倍元首相に対して、個人的に追悼することに対して反対するものではないが、それを国葬として取り扱うことがふさわしいものか、様々な議論が起きている。

旧統一教会や関連団体と関係があった国会議員は179人で、半数近くに上っていることが自民党の点検で明らかになっている。自民党と旧統一教会との組織的なつながりは明らかで、親

子3代にわたって関係のある安倍元首相の国葬を行うことによって、その問題の真相究明がなされないのではないかと懸念される。所見を問う。

■答・楠瀬市長

国葬の実施と真相究明との関係性のあるなしを導く根拠は何一つ持ち合わせていないので、この件のお答えは差し控える。

旧統一教会について

旧統一教会、国際勝共連合の掲げる憲法に、緊急事態条項の新設や自衛隊を明記する事、復古的家庭観などがあり、自民党の改憲案と非常に似ている。

自民党や議員との癒着によって政策がゆがめられてきたのではないかと。所見を問う。

■答・楠瀬市長

旧統一教会と自民党の改憲案については、緊急事態対応や家族条項、自衛隊明記などの共通点があることで、自民党や議員との癒着を指摘する報道があることは承知をしている。

他方、自民党や議員との癒着によって政策がゆがめられてきたのではないかと。の指摘は、いささか偏ったイメージによる飛躍的な見解であるのではない

いかと思う。

小・中学校統合について

6月定例会、柿谷議員の質問で「統合についての子供たちの意見はどうやって聞くのか」という質問に対して、市長は「様々な機会に聞かせていただきたい」と答えた。

具体的な取り組みについて、また、日程等について問う。

■答・楠瀬市長

様々な機会とは、現在ではメール、SNS等で繋がっており、各学校の生徒会等で学校統合をテーマとして意見をいただくことも可能である。常にこちらの門戸は開いていて、いろんな形でご意見をお寄せいただきたい。

学校統合計画策定委員会での協議内容について問う。

■答・細木教育長

説明会で保護者や地域の皆様からの意見や要望に対し、どのように回答していくのか、現在、整理、議論を進めている。

学校給食について

6月定例会で、物価高騰による給食費の値上がり分の補てんを要望したが、その後どうなったのか問う。

■答・中西学校教育課長

物価高騰による給食費への影響は1食当たり20円程で、本年度に限り、9月以降の給食に対し、1食当たり20円を支援する。また、値上げしている3校に対しては、4月から7月の給食も対象とし、値上げ分の1食当たり10円を支援する。これにより、保護者の負担は前年度と同一の金額になる。

学校給食に提供される米や野菜の農産物について、JA土佐くろしおと協定を結び、自給率向上のためにも地産地消の取り組みをされてはどうか問う。

■答・中西学校教育課長

地産地消の取り組みは、地域の営業者、事業者の活力にもつながるもので、担当課としても取り組んでいきたいが、必要数量が確保できるのかというのをJA土佐くろしおの関係部署と意見交換をさせていただきたい。

その他

国保や後期高齢者医療加入者への新型コロナウイルス傷病手当金など質問。

議会改革調査 特別委員会報告

委員長 土居 信一

議員定数・報酬について検討し、令和元年12月に議会運営委員会へ報告した後、令和4年3月定例会において、議員定数1減、報酬の復元の条例改正議案を上程し、可決いたしました。

政務活動費については、意見の一致を見出せず、引き続き審査することとなっています。

議会報告会の開催方法等については、議員が出向いて市民から各地域の課題を聞く、また、議会が意見を聞きたい課題等を提案していく等、方法を工夫して継続していくとの結論にいたりりましたが、新型コロナウイルスの蔓延により、現在は中断中となっています。

通年会期制、議員の産休・育休については、課題として持ちつつ、議論が必要な状況が生じた場合に議論していくこととしました。

議会のペーパーレス化については、令和3年5月に津野町への現地視察を行い、令和3年9月第9回特別委員会で議会としてペーパーレス化に取り組むべきとの結論に至りました。

令和4年6月第10回特別委員会で



は、ペーパーレス化に向けて一気にシステムの導入を図るのではなく、第1段階として、議員全員がICT機器に慣れることが肝要と位置づけ、機器の導入に向け、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した補正予算案の上程を提案しましたが、この取り組みは実を結びませんでした。今後、引き続き機器の導入等の予算化に向け、協議を継続することとなります。

議会改革調査特別委員会におきましては、緊急性の高いものについてはそれに対応することは勿論ですが、一方で、できることから取り組むという観点でも協議を続けてまいりました。

議会改革は、市民の負託、時代の要請に応えるためには、継続して取り組むべき課題であり、今後も引き続き調査、研究、実践が求められると考えております。

南海地震対策調査 特別委員会報告

委員長 大崎 稔

第1回特別委員会は正副委員長の選任を行いました。

第2回特別委員会では、16期から引き継いだ課題や今後の取り組みについて協議後、城山公園避難所の現地視察を行いました。



また、災害発生時の議員の対応について第3回、第4回特別委員会で協議、提案し、議員の申し合わせ事項に加えることにしました。あわせて、地震・防災課から仮設住宅建設候補地について説明を受け、協議を行いました。

第5回特別委員会では、防災無線入れ替えの経過報告、自主防災組織の取り組みについて地震・防災課から説明を受け、協議を行いました。

第6回特別委員会では、妙見町避難

路の現地視察後、防災無線入れ替えの経過報告を地震・防災課から受け、協議を行いました。



第7回特別委員会では、防災無線の貸与率について報告を受けた後、早期避難対応について各担当課長も交え、協議を行いました。

また、第8回特別委員会として令和4年7月28日に開催された令和4年度市町村議会議員研修に参加し、「自治体の防災対策と議会・議員の役割」について講演を受けました。

今後の活動につきましては、近い将来、必ず発生するであろう南海トラフ地震に対する備えを更に充実させるために、ハード、ソフト両面、特にコロナ禍における避難所運営等、須崎市議会としても引き続き特別委員会の中で調査、研究していく必要があるのではないかと考えております。

9月定例会常任委員会 審査内容(抜粋)

総務委員会

令和4年度須崎市 一般会計補正予算 (第5号)について《分割》

海のまち緑日商店街ゲートの工事費用5,500万円は高額過ぎないか。

■答・プロジェクト推進室

耐震性能を満たす事は当然ですが、架設する位置とか道路幅等設置の環境から使用部材、構造に高い水準が求められるので費用がおのずと高額になる。

安全第一に考えた事なのでご理解いただきたい。

南北道路は避難道路とすべく拡張した道路であったと思うが、そこに倒壊して避難の妨げになるゲートを造るのはいかなものか。南北道路が出来た経緯を遡って考えていただきたい。

■答・プロジェクト推進室

ゲートの設置場所については、南北道路の設置目的を改めて勘案する中、費用面もあわせて協議会に報告して、改善できる部分があれば改善していきたい。

トウクトウク2台は、どのような活

用を考えているのか。

■答・プロジェクト推進室

県内外からイベントに訪れた方が会場から周辺施設へ少人数で移動できる手段として活用が想定される機会が多くある事から、協議会で導入を進めている。

寄附をいただいて新たな試みをする事良い事だと思うが、事業の全体像や今後の維持管理等で市が負担する金額が示されないと審議しづらい。おおよその金額を提示できないか。

今後、新たな事業が増える事はないのか。

■答・プロジェクト推進室

海のまちプロジェクトについては、協議会で専門チームを組んで進めているので、少し走りながら考えている部分もあつて、確実な内容を示せていない。現段階で次に予定している事業はない。

■答・副市長

本来、決定してから提案すべき事が多々あると思います。走りながら考えているところが正直あります。

こういった方向で検討しながら、決まり次第報告もしながらと思っておりますので、ご理解ください。

産業建設委員会

令和3年度須崎市 水道事業会計決算の 認定について

給水量、給水収益、給水利益が前年度より減少しているにも関わらず黒字決算となっているのは、一般会計補助金が増加したからではないのか。

水道事業会計のみで経営できず、水道料金を値上げするような状況になっているのか。

■答・水道課

一般会計補助金は、赤字額を補てんするための補助金ではなく、一般会計から支出すべき事業費用に対する補助金である。

令和3年度末には企業等誘致促進によるエム・セテック株式会社への水道料金減免措置も終了したことから、次年度以降は給水収益の増加が見込まれている。

須崎市水道事業経営戦略に基づき財政運営を計画的に行っており、全体としては経営状況、財務状況は比較的良好で、料金の改定は、現段階では必要ないと思っております。

教育民生委員会

「須崎市小中学校統合計画」 の見直しを求める陳情書

陳情事項

- 1、「須崎市小中学校統合計画」を見直し、少なくとも小規模校通学の選択肢を残すこと。
- 2、住民・地域の合意なしの無理な統合を強行しないこと。

■審査結果

須崎市小中学校統合計画については議会の中でも意見が分かれている事、また、教育委員会の保護者や市民への説明会が全て終了しておらず、現在進行中である事、今後も引き続き市民への周知や、統合する場合の課題等について十分に議論をする必要があるの、継続審査するべきであるとの意見と、慎重に審議をすべき課題であるが、様々な議論をしている中で見直しを求めている趣旨を汲み取って、本陳情については採択すべきであるという意見が出され、挙手による採決の結果、賛成多数で継続審査することと決しました。

ご挨拶



大崎 宏明
前 議長

第17期前期議長を務めさせていただきました。大崎宏明でございます。

改選後直後の議長職という重責を任されましたが、何分不慣れな事であり、市民の皆様、市長、議会事務局、執行部のご協力により円滑な議会運営を進めることができました。

この任期中は、平成から令和へと年号が変わる時代の変化に立ち会えました。日本の新時代への出発。須崎市議会議長として、市民の皆様の安心・安全、より良い街づくり。後世に素晴らしい街として引き継ぐ使命に身が引き締まる思いでした。

また、議会の代表として須崎市の様々な行事へ出席させていただき、多くの市民の皆様と交流、意見交換等させていただきました事や、各地域で開催させていただきました議会報告会を通じて、須崎市への現段階での御意見や課題を広くお預かりし、今後は、お預かりしました御意見や課題への解決に向け、議会として取り組んでまいります。

最後に議長として、至らぬところ、やり残した事など、多々ありましたが、市民の皆様のご理解、ご協力いただきました事に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご挨拶



高橋 立一
議 長

私は第17期後期の2年間、議長を務めさせていただきました。前議長の在任時から続く新型コロナウイルス蔓延の影響で、特に1年目は制約の多いなかでの任務でした。そのため、中途半端で終わったり、消化不良で終わることもあり、気持ちに伝わらないもどかしさを感じた時もありました。

議長は議会を代表する顔ともいえますし、その責務は責務としてありますが、実際には、それ以上に周りの方々のご理解とご協力なしには任務の遂行もままならないことが数多くあるということを改めて感じました。また、公平で公正な立場を自覚しつつ、決断をしなければならぬ場面ももちろんあります。そういう意味では、力み過ぎず、緩め過ぎず、出来る限り冷静に、鳥瞰の視点を忘れないことが何より肝要であると思います。さらに、心の準備を怠らないことが必要であるとも思います。心の準備とは、ニュートラルでいること、想定すること、受容することです。それでも私自身、それが十分にできたかどうかは、甚だ心もとない次第であり、結局は同僚議員をはじめ色々な人に助けていただいたということだろうと思います。

2年間ご協力いただいたすべての皆さんに感謝します。ありがとうございました。

編集後記

秋も一段と深まり、日だまりの恋しい季節となりました。

この議会だよりが発行される頃には、これからの須崎市を担う14名の議員が誕生していることだと思います。

活発な議論の上にも議論を重ね、新たな須崎市を創造していただくことを期待します。

2019年から流行しました新型コロナウイルス感染症も収束を迎えることなく3年が経過しようとしておりますが、コロナとの共生（ウィズコロナ）を図らないといけない時代となりました。オミクロン株にも対応した改良型ワクチンの接種も始まりますので、ご自身の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族を守るためにも積極的に接種していただき、皆様と共に、新型コロナウイルス感染症を乗り越えていきたいと思えます。

議会だよりは紙面の制約もあり、全文掲載することが出来ませんが、議会ホームページ内にある会議録より、全てご覧になることが出来ますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。

時節柄、市民の皆様におかれましては「層」ご愛下さいませ。

（海地 雅弘）

編集委員会



委員長	高橋 祐平
副委員長	吉野 寛招
委員	海地 雅弘
委員	大崎 宏明

会議録がご覧いただけます



本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録(12月上旬発行予定)をご覧ください。

なお、会議録は議会事務局のほか、図書館、各公民館に備えてあります。

●須崎市ホームページにも掲載しています。 <https://www.city.susaki.lg.jp/> ●議会開会日は、よさこいケーブルネットで生中継や録画放送